

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	141個性豊かなコミュニティづくり		
施策のねらい (めざす姿)	地域コミュニティ活動や、テーマに沿った市民活動が盛んに行われ、市民一人ひとりが地域社会の中で役割を認識しています。 地域のきずながあり、特色のあるコミュニティが形成され、安心して暮らしています。		
基本目標	1「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして	施策担当マネージャー	市民生活部次長
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	マネージャー氏名	渡邊 忠明

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	職員の意識向上および市民が自主的に活動できるような環境整備。	③改革・改善内容	市民との協働戦略プラン及び市民提案協働モデル事業制度の見直しを行うほか、自治会集会所を保有していない自治会に対し、今後も助成を行うとともに、コミュニティセンターの計画的な修繕を行う。
②①に基づく取り組み結果	市民活動支援補助金制度の見直しを行ったほか、市民活動推進センターのリニューアルオープン、自治会集会所建設に対する補助金交付、コミュニティセンターの大規模改修等を行った。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	市民	意図(対象をどうするのか)	自治会活動や市民活動に積極的に参加するとともに、地域住民同士で交流を深めることで地域の活性化を図る。
②施策の概要	自治会などの地域コミュニティ活動や、NPO法人などの市民活動を推進するための環境整備を行うことにより、個性豊かなコミュニティ社会を目指す。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	少子高齢化の進展や人口減少社会を迎えるにあたり、地域コミュニティ活動による地域の絆の再生や、市民活動の推進による地域活性化策は、今後ますますニーズが高くなっていく。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25～26年度の施策の成果	受所自治会、鎌ヶ谷第二区連合自治会の自治会集会所建設に対する補助金交付、コミュニティセンター3館の指定管理者制度の導入、市民活動推進センターのリニューアルオープンを行ったほか、市民活動支援補助金の交付1事業、市民提案協働モデル事業1事業を実施した。						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値(27年度)
	i	自治会加入世帯数	世帯	29,398	29,407	29,442	29,500
	ii	市民活動推進センター登録団体数	団体	120	120	125	90
	iii	過去1年間に地域活動をした市民割合(市民意識調査)	%	—	61.2	—	66.0
③基本事業成果指標	i	自治体加入世帯数	世帯	29,398	29,407	29,442	29,500
	ii	「市政に参加したい」と思う市民割合(市民意識調査)	%	—	26.3	—	30.2
	iii	コミュニティセンター利用者数(年間)	人	100,436	107,748	106,906	105,000
	iv	市内NPO法人数	組織	26	26	26	27
	v	市民活動推進センター登録団体数	団体	120	120	125	90
	vi						
	vii						
	viii						
	ix						
④施策の事業費	平成25年度決算	平成26年度決算	市民一人あたり事業費(26年度決算)		平成27年度予算		
事業費(千円)	103,879	171,033	(単位:円) 1,574 円		110,714		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	地域コミュニティ活動や市民活動をより活発化していく必要がある。		
②総合評価	2概ね達成	③総合評価の理由	地域コミュニティ活動や、市民活動を推進するための環境整備を計画的に実施したことにより、成果指標に設定した目標を概ね達成できた。

V 今後の方向性

①成果の方向性	↑向上	②コストの方向性	→維持
③特に重点化する事務事業	自治会集会所整備助成事業		
④上記方向性の説明	コストを維持したまま、さらなる施策の成果の向上を図る。		